

平成22年7月29日

国土交通省 九州地方整備局 長崎河川国道事務所

扱い 平成22年7月29日(木) 14:00解禁
県政記者クラブ(投げ込み) 諫早記者クラブ(レク付き投げ込み)

記者発表資料

平成21年 本明川水質調査結果の公表について

国土交通省九州地方整備局長崎河川国道事務所では、本明川で4箇所、支川半造川で1箇所の水質調査を実施しています。本資料は本明川水系における直轄管理区間の平成21年水質調査の概要をとりまとめたものです。

◎水質環境基準地点のBODは全て基準を満足

BODは、平成20年と同じく、環境基準地点(鉄道橋、天満公園前、旭町)において環境基準を満足していました。

◎BOD75%値は昨年と同程度

本明川調査地点平均は1.1mg/l(昨年1.2mg/l)、半造川は4.4mg/l(昨年4.3mg/l)と同程度でした。

◎河川の平均水質によるランキング

河川の平均水質によるランキングは、九州26河川のうち第14位、全国165河川のうち第114位でした。

○同時発表
国土交通本省(河川局河川環境課)
北海道開発局及び各地方整備局
河川関係事務所

問合せ先
国土交通省 九州地方整備局 長崎河川国道事務所
Tel. 095-839-9211
調査第一課 課長 太田 信也
係長 山村 健志

平成21年 一級河川本明川の水質現況（要旨）

九州地方整備局は、昭和33年から九州一級河川の水質調査を実施し、昭和47年からその結果を公表しています。

本報告は、一級河川本明川において、平成21年（2009年）に国土交通省が定期的（原則として月1回）に実施した水質調査結果の概要を取りまとめたものです。

1. 水質調査地点

表-1 本明川水質調査地点一覧

河川名	観測地点名	環境基準地点	類型指定状況 (s48指定)	観測地点所在地	河口及び合流点からの距離
本明川	鉄道橋	○	A	諫早市天満町	河口より13.6km付近
本明川	天満公園前	○	B	諫早市天満町	河口より12.2km付近
本明川	旭町	○	B	諫早市旭町	河口より10.8km付近
本明川	不知火	—	B	諫早市長田町	河口より7.7km付近
半造川	半造橋	—	—	諫早市川内町	合流点より1.4km付近

※水域類型：生活環境の保全に関する環境基準は、河川、湖沼、海域と利水目的に応じた水域類型を設け、水域類型ごとに、pH、BOD、COD、等の項目について基準が設定されています。河川はAA～Eの6類型が設けられています。

※環境基準地点：水質汚濁にかかる環境基準の水域類型のあてはめがなされた水域において、環境基準の維持達成状況を把握するために調査を行います。その評価地点が環境基準地点です。本明川では二つの水域（（1）鉄道橋（2）天満公園前、旭町、不知火）に分かれており、各水域の評価地点は、（1）鉄道橋（2）天満公園前、旭町となっています。

生活環境の保全に関する環境基準(河川)

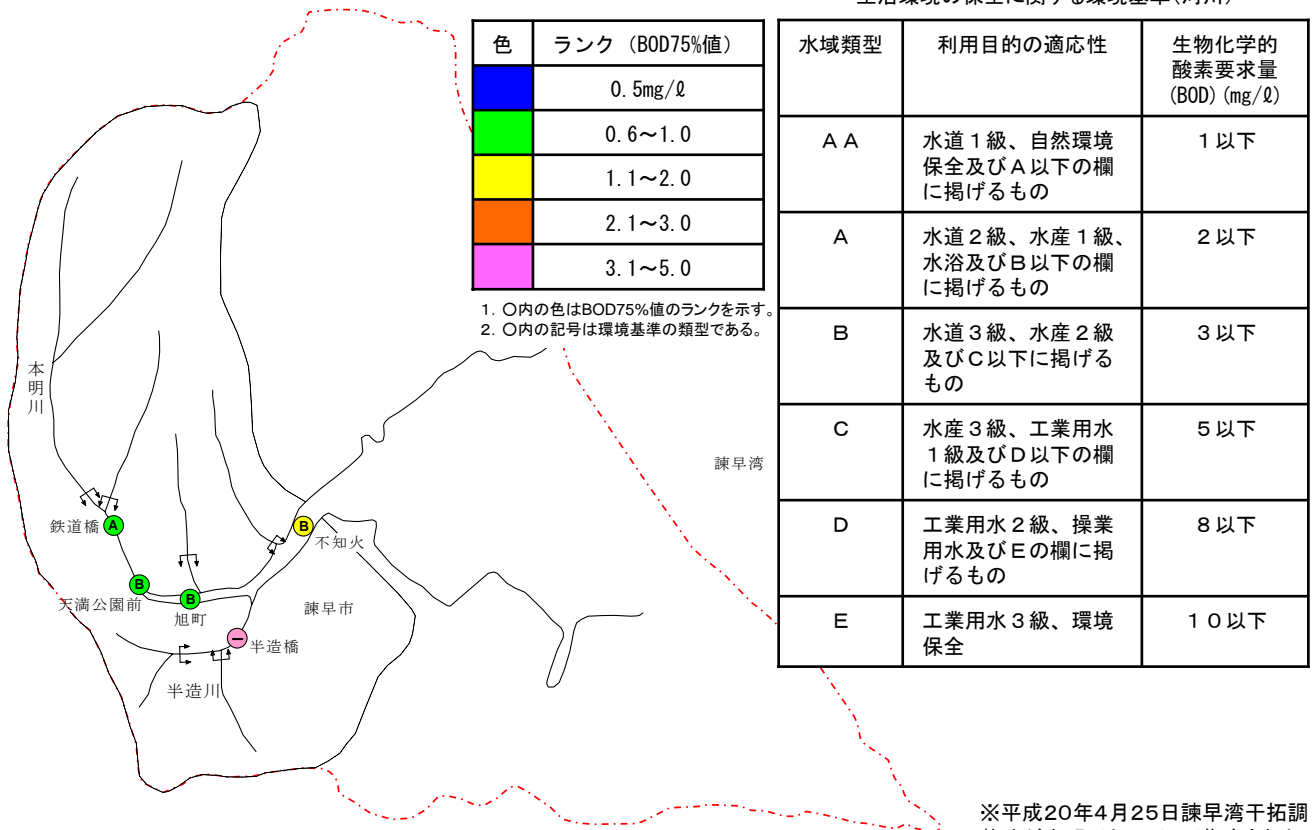


図-1 水質調査地点位置図

2. 生活環境の保全に関する水質の現況

◎平成21年は、本明川の鉄道橋、天満公園前、旭町、不知火地点の4地点ともBODの環境基準値を満足しています。

◎支川半造川の半造橋地点のBODは、3.2mg/ℓと比較的高い値となっております。
※支川半造川は類型指定されていないため、環境基準値は設定されていません。

◎BOD75%で見ると、平成21年は過去10ヶ年とほぼ同程度でした。

表-2 本明川における水質観測地点のBODの経年変化

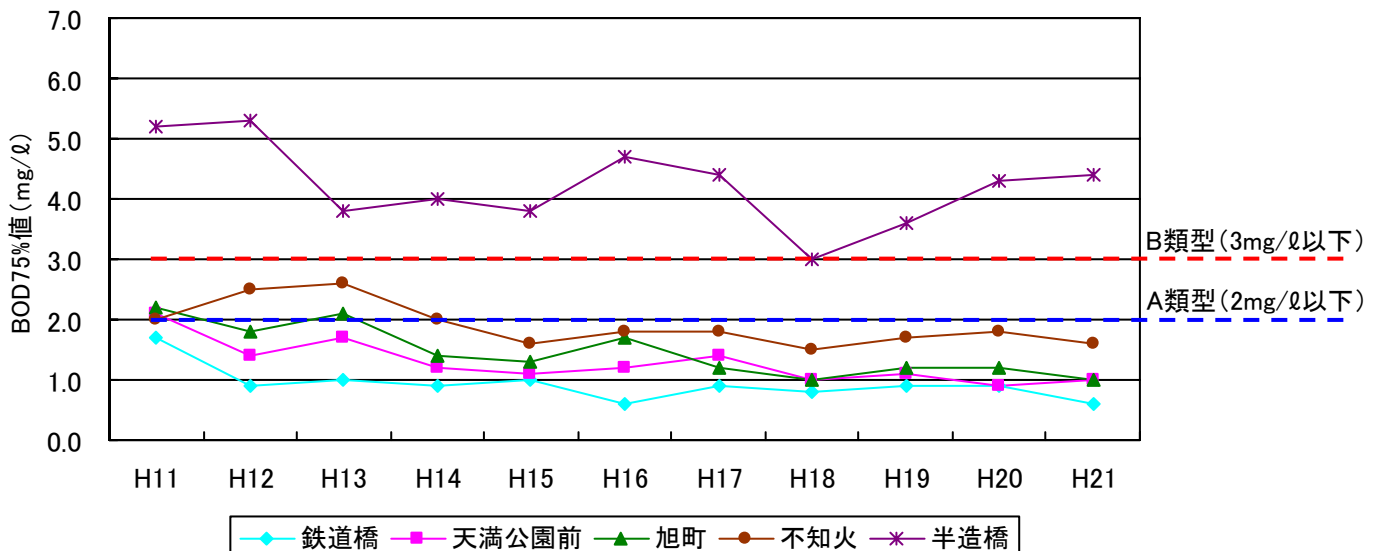
		H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H11~H20 平均	H21	類 型
鉄道橋	①75%値	1.7	0.9	1.0	0.9	1.0	0.6	0.9	0.8	0.9	0.9	1.0	0.6	A (2.0以下)
	②年平均値	1.3	0.8	1.0	0.9	0.8	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.9	0.7	
天満公園前	①75%値	2.1	1.4	1.7	1.2	1.1	1.2	1.4	1.0	1.1	0.9	1.3	1.0	B (3.0以下)
	②年平均値	1.7	1.2	1.5	1.2	1.0	0.9	1.1	1.0	1.0	0.8	1.1	0.8	
旭町	①75%値	2.2	1.8	2.1	1.4	1.3	1.7	1.2	1.0	1.2	1.2	1.5	1.0	B (3.0以下)
	②年平均値	1.7	1.3	1.5	1.4	1.0	1.1	1.0	1.0	1.1	0.9	1.2	0.8	
不知火	①75%値	2.0	2.5	2.6	2.0	1.6	1.8	1.8	1.5	1.7	1.8	1.9	1.6	B (3.0以下)
	②年平均値	1.8	2.1	2.1	1.8	1.4	1.6	1.5	1.4	1.6	1.6	1.7	2.1	
4地点平均	①75%値	2.0	1.7	1.9	1.4	1.3	1.3	1.3	1.1	1.2	1.2	1.4	1.1	
	②年平均値	1.6	1.4	1.5	1.3	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.0	1.2	1.1	
半造橋	①75%値	5.2	5.3	3.8	4.0	3.8	4.7	4.4	3.0	3.6	4.3	4.2	4.4	
	②年平均値	3.9	4.0	3.1	3.6	3.0	3.6	3.6	2.6	3.3	3.3	3.4	3.2	

■ : 環境基準地点

■ : 75%値で環境基準を超過した値

() : 環境基準値

図-3 水質経年変化グラフ (BOD75%値)



3. BOD平均値から見た河川の水質状況（九州管内）

国管理区間の延長が10km以上で公共用水域の水質測定計画に位置づけられている調査地点が2地点以上の26河川について、平成21年に測定された各調査地点のBOD平均値を河川毎に平均し、順に列記したものを表-3に示します。本明川のBOD平均値の範囲は0.7～2.1mg/ℓでした。

◎平成21年の本明川におけるBOD平均値は1.1mg/ℓでした。河川の平均水質によるランキングは、九州26河川のうち第14位、全国165河川のうち第114位でした。

表-3 BOD平均値（平成21年）

（単位：mg/ℓ）

順位				河川名 ※は支川を示す。	調査箇所		平成21年			平成20年
H20		H21			地点	県名	平均値	BOD平均値 の範囲	BOD 75%値	BOD 平均値
九州	全国	九州	全国							
1	1	1	1	川辺川(球磨川)※	5	熊本県	0.5	0.5 ~ 0.5	0.5	0.5
2	11	2	17	厳木川(松浦川)※	3	佐賀県	0.6	0.5 ~ 0.6	0.6	0.6
2	11	2	17	五ヶ瀬川	2	宮崎県	0.6	0.6 ~ 0.6	0.6	0.6
2	11	4	28	小丸川	2	宮崎県	0.6	0.5 ~ 0.7	0.7	0.6
2	11	5	36	本庄川(大淀川)※	3	宮崎県	0.7	0.6 ~ 0.8	0.7	0.6
6	18	6	44	球磨川	7	熊本県	0.7	0.6 ~ 0.8	0.8	0.6
7	47	7	57	菊池川	5	熊本県	0.8	0.6 ~ 1.0	0.7	0.8
7	47	8	67	白川	3	熊本県	0.8	0.7 ~ 0.9	0.9	0.8
9	72	9	81	番匠川	3	大分県	0.9	0.6 ~ 1.2	1.0	0.9
9	72	10	94	緑川	4	熊本県	0.9	0.6 ~ 1.1	1.2	0.9
9	72	11	101	山国川	6	福岡県 大分県	1.0	0.8 ~ 1.3	1.1	0.9
12	79	11	101	川内川	7	鹿児島県	1.0	0.6 ~ 1.7	1.1	0.9
13	84	11	101	筑後川	12	福岡県 大分県 熊本県	1.0	0.7 ~ 1.6	1.1	1.0
17	94	14	114	本明川	4	長崎県	1.1	0.7 ~ 2.1	1.1	1.0
13	84	15	116	大分川	4	大分県	1.1	0.9 ~ 1.3	1.2	1.0
19	127	16	118	松浦川	4	佐賀県	1.1	0.7 ~ 1.8	1.3	1.3
20	136	16	118	嘉瀬川	4	佐賀県	1.1	0.6 ~ 1.6	1.3	1.3
13	84	18	131	大野川	3	大分県	1.3	0.9 ~ 1.7	1.2	1.0
13	84	19	132	矢部川	3	福岡県	1.3	0.8 ~ 1.7	1.4	1.0
21	140	20	135	牛津川(六角川)※	3	佐賀県	1.3	0.7 ~ 2.1	1.5	1.4
18	114	21	139	犬鳴川(遠賀川)※	2	福岡県	1.4	1.3 ~ 1.4	1.5	1.1
25	156	21	139	六角川	4	佐賀県	1.4	0.9 ~ 2.2	1.5	1.9
22	142	23	150	大淀川	7	宮崎県	1.6	0.7 ~ 2.9	1.9	1.4
24	149	24	154	彦山川(遠賀川)※	3	福岡県	1.8	1.2 ~ 2.1	2.1	1.6
23	147	25	155	遠賀川	5	福岡県	1.9	1.4 ~ 2.5	2.1	1.6
26	159	26	160	肝属川	4	鹿児島県	2.4	1.2 ~ 3.4	3.3	2.1
(全国調査地点数：H20：166地点、H21：165地点)					平均		1.1		1.3	1.1

（報告下限値を0.5 mg/ℓとして集計）

評価方法：順位は、BOD平均値の小さい順です。BOD平均値が同じ場合は、75%値により評価しています。

※BODとは、生物化学的酸素要求量のこと、微生物が水中の有機物を分解するときに消費する酸素量として表され、この値が大きいくほど、水の汚れの度合いをひどいことになります。

※75%値とは、測定データを低い方から並べたとき75%の位置にある値のこと、これにより環境基準適合状況を判断します。

（例）12個のデータがあれば9番目に小さい値